

中学校及び高等学校の部

優良賞

「思い出の場所」

沖縄県立開邦高等学校 1 年 上地 志織

沖縄県は観光客がよく訪れる、観光都市です。国内だけでなく、アメリカ、中国、台湾といった、海外からの観光客も多いです。最近、県内には、観光客の為の免税店やアウトレット店が、よく見受けられます。

やはり、沖縄の観光といえば、首里城へ行ったり、美ら海水族館へ行ったり、国際通りへ行ったり、山原の自然を満喫したりするのが一般的だと思います。仕事などで疲れた人々が羽を伸ばしに沖縄に来ることは多いでしょう。

観光という言葉は、

「他の国や地方の風景・史跡・風物などを見物する事。」

といった意味があります。しかし、観光というのはたんなる遺跡などの見物だけでなく、そのなかに人との関わりが重要になってくると思うのです。

私はよく家族旅行に行きます。以前北海道に家族で行った際、特急に乗りました。席は2つずつだったので、父が前に座る事になりました。しかし途中、向かい合おうという事になり、父の座ってる席を後ろに回転させようとする、父の前に座ってたと見られる人が、父が座席付近に置いていた袋を見て「このごみ誰やっ。」と怒鳴ったのです。

また、福岡に母で行った際、現地のタクシーに乗ったのですが、そのタクシーの運転手さんは、とても無愛想で態度が非常に悪い人でした。

この嫌な思い出は今でもはっきりと覚えています。とにかく残念でした。楽しい旅行のはずが、天気ならともかく、人との関わりによって台無しになる事を経験しました。しかし、今年の春休みに、九州旅行に行った際、人との関わり

りによって楽しい旅行ができました。

大分の山道をドライブしていると、まるで昔を思わせる店が立ち並ぶ場所がありました。そこに私の大好きなしいたけを売っているお店がありました。どうやらそこはしいたけの産地らしく、新鮮なしいたけを外に干していました。あまりにも美味そうだったので、販売しかしていないしいたけを調理してくれないかと、母が店員さんに無茶なお願いをしたのです。しかし、店員さんは快く承諾してくれ、中の食堂で焼いたしいたけを出して下さいました。とても美味しい、思い出に残る味でした。

観光客は、沖縄に羽を伸ばしにきています。

それが、一部の人の行動によって嫌な思いをしたり、トラウマになったりすると、沖縄になんて来なければ良かったという事になってしまいます。

沖縄に住んでいると、テレビで沖縄の事が沢山紹介されます。テレビで沖縄の良い所、美しい所ばかり言われているのを見ると、実際はそうでもない、という思いが湧いてきます。沖縄の人は皆良い人、優しい人、本当にそうでしょうか。沖縄の人々の交通マナーは悪いと思います。沖縄に来る観光客はよくドライブをします。しかし、交通マナーが悪い人があちらこちらに居ると、観光客はそれだけでストレスでしょう。また、人の列への割り込み、ウチナータイム、これもマナー違反ではないでしょうか。ゆっくり、のんびりする事は悪くないと思いますが、時間にルーズなのは、時に沢山の人の迷惑をかけます。人の列への割り込みは、よく私も経験しました。先に並んでいたのは私にもかかわらず、横からどさくさに紛れて割り込まれて非常に迷惑でした。

観光客の方に、本当に沖縄に来て良かった、そう思ってもらう為には、私達県民の、普段の行いが重要になります。どんなに一流のホテルに泊まっても、やはりその旅で会った人々との出会いで、旅の思い出も変わるのです。

それから、観光する方のマナーも大事です。沖縄の綺麗な海を見に来たのに、持ち込んだ飲み水、食べ物を放置したり、ゴミを捨てたりすると、砂浜は汚れ、

海も汚くなります。さらに、沖縄の遺跡や文化遺産に落書きしたりゴミを置っぱなしにするのは当然マナー違反です。

観光都市である沖縄に、観光客はみな胸をおどらせ、期待を持って来ているはずです。せっかく来てくれたのだから、思い出に残る、良い旅にしてもらいたいものです。その為には、私達県民のマナー、そして観光客自身のマナー両方が大切なのです。

今まで沖縄に観光に訪れた人の中にも、沖縄の人との関わりで嫌な思いをした人がいるかもしれません。そのような方の為に、これからの観光客の方々の為に、そして未来の沖縄の為に、今の私達がすべき事は、自分の事だけ考えず、もっと周りに気を配る、そういう出来て当たり前の事を、普段から当たり前にする事なのです。

沖縄の人々のマナー、観光客のマナーを向上させるには、もっと沖縄県民に自分の県を客観的に見てもらう取り組みであつたり、観光客に現地の人のそこへの思い入れであつたりを知ってもらう、現地に近付く取り組みが必要だと思います。

これから私も、自分の行動を考えていき、マナーを守り続けます。